

# 「不都合な真実と向き合う勇氣」

「不都合な真実」という書籍が一世を風靡した事がありました。地球が温暖化し

あるという事ではないでしょうか？

続ける実務的機能を持って

なければならぬはずで

ており、それが将来の人類の

世界では残念ながら戦乱

と暮らしを守ることは出来

は、実は勇氣が一番大切だと

非常に高い事を世界に認識

本だけが今後も戦乱に巻き

愛する諸国民の公正と信義

で目にします。真の知性と

化対策を推進する大きな

念ながら神話でしかないで

生存を保持しようと思

なく、不都合でも真実を正

キツカケとなった本でした。

まれない為の対策について議

生存を外国に依存するとい

思います。勇氣無き知性は言

私達は不都合な真実から

論すら難しい政治状況が続

う意味の宣言をしており、自

目を背けたくなる事実

目を背けてしまいがちです。

敗戦の記憶が生々しい我が

分で自分を守らなくても他

くとも答えを出せるか否か

生み出してきました。原発の

国においては、戦争という言

葉そのものが忌わしいと、瞬

が、私達日本人に今問われて

安全神話もそうでした。原

発的に忌避することは、心情

的には致し方無いとしても、

現実を損なう程の幻想

発が事故を起こさない訳が

原発の事故を信じたくな

かった人達と同じ悲劇を招

あつてはならないと思いま

なかつたのに、政府や事業者

かかぬない危険をはらんで

いるという事実から、目を背

す。想像もしたくない程の災

や学者までも、絶対に安全

けてはならないと思

厄を回避するには、目を背

け、議論すら避けるのではな

だと言いつつ、事故が発生

つとあります。憲法は、国

理的で現実的な対策を作ら

なければならないと思

した時の対策を充分に考え

憲法改正の議論が始まり

つとあります。憲法は、国

理的で現実的な対策を作ら

る事さえ怠ってきてしま

つとあります。憲法は、国

理的で現実的な対策を作ら

なければならないと思

ました。神話が神話である

つとあります。憲法は、国

理的で現実的な対策を作ら

なければならないと思

理由は、あくまで物語であ

つとあります。憲法は、国

理的で現実的な対策を作ら

なければならないと思

り、客観性や合理性や実用

つとあります。憲法は、国

理的で現実的な対策を作ら

なければならないと思

性には耐えられない代物で

つとあります。憲法は、国

理的で現実的な対策を作ら

なければならないと思

Facebookでも活動報告を行っています。〈Facebook アドレス〉 <https://www.facebook.com/anamiyoichi>

皆様のご意見をお聞かせください！お待ちしております。

あ な み よ う い ち

衆議院議員

穴見陽一

後援会  
事務所

〒870-1133 大分市大字宮崎867-18 TEL.097-567-1319 FAX.097-567-2010

<http://www.anamin.net> E-mail:info@anamin.net

